

群馬県甘楽郡甘楽町
大字小幡甲852
甘楽町役場
電話(小幡)4番・44番
編集総務課広報係
印刷所 碓氷印刷株式会社

4月の人口動態

| | |
|-----|---------|
| 人口 | 14,657人 |
| 男 | 7,089人 |
| 女 | 7,568人 |
| 世帯数 | 2,689戸 |
| 出生 | 43人 |
| 死亡 | 148人 |
| 転入 | 118人 |
| 転出 | 118人 |

耕うん機に課税済証つける

町では、農耕用軽自動車(リヤカー付の耕うん機)に、課税済証を取り付けます。従来、この種の軽自動車は、他の軽自動車などとちがった特殊事情があつて、課税がおくれないで、一見して課税済であるか、取り付けは、五月中の予定です。

参議院議員の選挙近し

二院制の認識を高め 公明選挙の実現をはかろう

ことしは、参議院議員の選挙が行なわれます。七月七日に、参議院議員の半数(二五五人)の人たちが、任期満了となり、その改選が行なわれるわけです。選挙は、六月末か、七月はじめが、予定されているようです。いままでに、七月の参議院議員の選挙の投票率は、大体六〇%前後(全国の平均)で、衆議院議員選挙の投票率にくらべると、約一〇%ほど低くなつています。その原因のひとつには、参議院の重要性というものを、私たち国民が、よく知らないことがあげられます。そこで、参議院とはどういうものか、中学生の正雄君と父親の間答のなかで、勉強してみることになりました。

私たちが国の政治

正雄君「おとうさん、昔は政治の主権が天皇にあつたそうですが、いまはどうなつてゐるの。」

父親「おや、なかなかいいことを聞くね。そうだ、近く参議院の選挙が行なわれるから、二人で話し合つてみるか。」

正雄君「うん、社会の時間にするから……勉強しなさい。」

父親「新しい憲法になつてから政治の主権は天皇でなく、私たち国民に移されたんだよ。正雄君「じゃ、私たちが、私たちの手で、私たちが、私たちが政治をやつていんだね。」

父親「そうさ、それを民主政治ていうんだ。」

正雄君「あ、そうか、でも、国民全部じゃ人数が多くて、相談できないね。」

父親「代表者を出すのさ。衆議院や参議院があつて、そこに集つた代表者が、税金や、道路、教育、産業と、私たちの生活のものを決めてくれるのだよ。」

正雄君「すると、代表者のえらび方によつて、日本の政治がよくなつたり、悪くなつたりするの。」

父親「そうだ、私たちの生活に、大きな影響があるよ。」



戦没者の慰霊祭

4月18日に挙行了しました

世界にほこる、桜花散りかいかすむ4月18日、中央公民館で、甘楽町の戦没者の慰霊祭が、おごそかに行なわれました。今回が第4回めです。564柱のみたまを一堂にまねき、

遺族や来賓者が約500名参列、盛大に、式典が執行されました。こうした、私たちの町をあげての慰霊祭によつて、いまは声なき英霊となつた、かつての勇猛果敢な戦士も、必ずや安らかに、極楽浄土に眠り続けることができることでしょう。

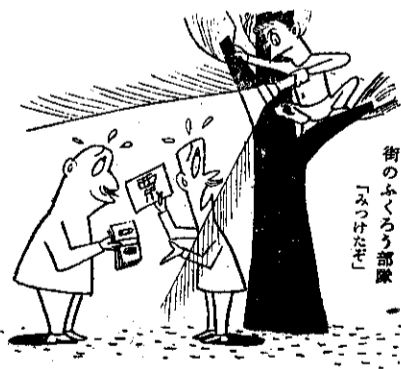
せんきよ



委員長に鈴木氏再選

町の選挙管理委員長に鈴木柳一郎氏(69才、白倉)が、再び選ばれました。三月の町議会選挙でえられた、新しい選挙管理委員の委員会議は四月七日に開かれ、鈴木氏を再度委員長に選出し、同氏の承諾を得ました。

正雄君「法律を決めるときなどには、参議院は、どういふ働



参議院と衆議院

正雄君「国会に、参議院と衆議院の二つなくもいと思つて、父親「いや、一院だけになるとまたま片寄つた決議がされたりして、国民全部を代表しない場合があり、国民がほんとうに考えていることを無視した、悪い政治が行なわれる危険があるんだよ。」

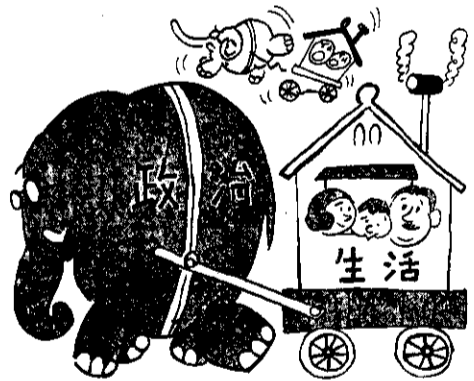
正雄君「ふうん、そういうことがあるの。」

父親「このほか、衆議院が解散などで活動がとまつた場合には、参議院が代行することになつてゐる。」

※フィンランド、ギリシヤなどは一院制。イギリス、アメリカ等は二院制。

参議院のはたらき

正雄君「法律を決めるときなどには、参議院は、どういふ働



よくなつたり、悪くなつたりするの。」

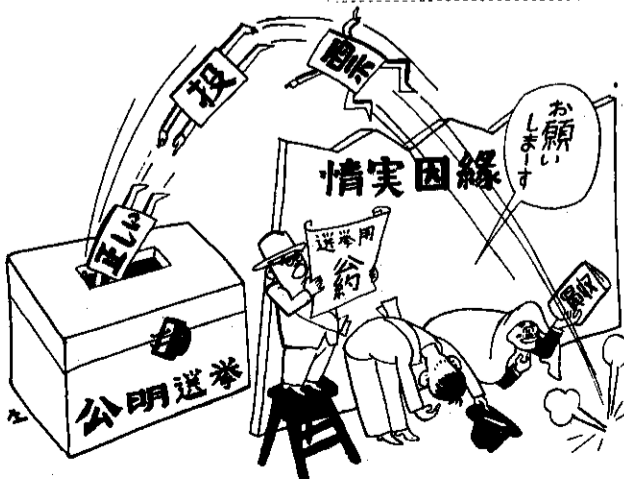
父親「そうだ、私たちの生活に、大きな影響があるよ。」

わたくしたちの生活は、政治と密接な関係があり政治によつて左右されます。

森吉正照

障壁をとびこえて

障壁をとびこえて



公明選挙……買収や供応に負けない努力、これは、私たちの生活をゆたかにする努力です。

任期と年令

父親「衆議院議員は四年の任期だけど、参議院議員は何年か知つてるかい。」

衆議院に回わされ、ここで可決されて、はじめて法律できあがるわけだ。」

正雄君「なるほどね。でも、衆議院と参議院の意見がまともでないときはどうするの。」

父親「そういうときは、衆議院の三分の二以上の議員の賛成がないと、法律がでないんですよ。つまり、参議院も衆議院と同じように、国の政治を正しく行なわせる働きをもつてゐるわけだよ。」

議員の定数

父親「正雄は、参議院議員の定数を知つてるかい。」

正雄君「うん、四六七人だ。」

父親「ちがう、ちがう。それは衆議院だよ。参議院は二五〇人だ。」

※このうち、一五〇人が地方選出議員、残りの一〇〇人が全国選出議員です。したがつて、選挙は、都道府県を選挙区とするものと、全国を選挙区とするものに分かれ、衆議院とちがつてゐます。

正雄君「えーと、知らないや。」

父親「六年だよ。しかも、衆議院は途中で解散ということもあるが、参議院には、解散がないんだよ。」

正雄君「参議院議員になる資格は、何から……。」

父親「衆議院議員は満二十五才以上、参議院議員は満三十才以上になつてゐる。」

半数の改選

正雄君「どうして三年ごとに半数の議員を改選するの。」

父親「そこが参議院のいいところで、衆議院からみると、このように選挙区、任期、年令を大きく、また改選方法を変えて、参議院にふさわしい人材を選び出し、安定して、長くその職務をはたし、正しい政治が行なわれるよう考えられてゐるんだよ。」

正雄君「ありがと、おとうさん。ぼく、大体わかりました。参議院にも、りつぱな代表者をおくらなけりや、大変なことになるね。」

春蚕期の火災に注意しましょう